

令和4年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

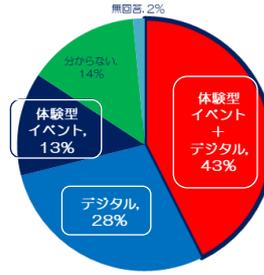
| | |
|--|--|
| 団体名 浜松市上下水道部 | 団体区分（混成の場合は複数☑） <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等 |
| 取組名 デジタル活用イベント「すいすいクラブでSDGsを学ぼう！」の開催 | |
| 責任者 氏名：安藤 誠二 所属：上下水道総務課（経営企画グループ長） 電話：053-474-7019 E-mail：suidow-s@city.hamamatsu.shizuoka.jp |  |
| 担当チームの構成 安藤 誠二・竹田 俊介・佐伯 高志・高橋 侑里 （上下水道総務課 経営企画グループ） |  ヨシズミさん （浜松市上下水道部職員） |
| 取組のポイント 9/4に『浜松市上下水道フェスタ 2022 ～すいすいクラブでSDGsを学ぼう！～』を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりのイベント開催（市民の方の希望に応えるイベントの開催）※十分なコロナ感染症対策を実施 ・デジタルの活用（ウェブサイト「すいすいクラブ」を活用したデジタル系イベント） ・テーマの明確化によりイベントの統一感を演出（テーマ：「すいすいクラブ」と「SDGs」） | |
| アピールポイント <div style="float: right; text-align: center;">  <small>「すいすいクラブ」</small> </div> <p>① ウェブサイト『浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」』を活用したイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すいすいクラブ」ベースで作成したポスターの展示 ・TVモニターや電子サイネージ看板等で「すいすいクラブ」を紹介（サイトや動画の上映） → デジタルを活用することで、より分かりやすいイベントとなった！ <p><u>「デジタル広報ツール」を「デジタル」と「体験型」を兼ねる「ハイブリッド型広報ツール」として活用</u> <u><ウィズコロナ、アフターコロナに対応した新しい広報形態></u></p> <p>② 「すいすいクラブ」と「SDGs」の関連付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すいすいクラブ」を通して、浜松市の下水道が「SDGs」に貢献している取組を紹介 → 話題性のあるテーマ「SDGs」の設定により集客力アップを図った！ <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  ×  </div> <p style="text-align: right;">（「すいすいクラブ」のPRにも繋がった！）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;"><small>てんさん りゅうさん （小学4年生）</small></p> <p><成果></p> <p>3年前（直近）実施のイベントと比べて約2.5倍の方が来場（大幅な来場者数の増↑） → 浜松市の下水道に対する興味・関心の喚起、「すいすいクラブ」の認知度向上に繋がる成果！</p> | |
| 要したコスト 約60万円（TVモニター等賃借料、ポスター用紙等備用品費、配布グッズ制作費、イベント保険料等） | |

取組の概要

背景

- ・コロナ禍に対応したデジタルによる広報活動の推進
 - 非接触型のデジタル広報ツールとして
 - ウェブサイト「すいすいクラブ」を公開 (R4.3)
- ・多くの市民が求める広報活動の形態は
 - 「体験型イベントとデジタルの両方」
 - 体験型イベントの再開を検討(コロナ感染症対策実施)

<R2年度 広聴モニターアンケート>
今後の上下水道の広報活動は
どのような形態がよいか？



コロナ禍の中
デジタル広報だけではなく
体験型イベントを希望する
市民の方も多い！
→ 体験型イベントとデジタルの
両方を兼ねた広報活動を検討



デジタル広報ツール「すいすいクラブ」を
活用したイベントの開催を検討

取組

『浜松市上下水道フェスタ 2022 「すいすいクラブでSDGsを学ぼう!」』を開催(R4.9.4) <3年ぶりのイベント>

「すいすいクラブ」の
サイトや動画を上映



コロナ感染症対策の実施

- ・入口で検温
- ・入口と出口を決め、一方通行の通路を設定し、来場者の混雑を回避



- ・浜松市デザインマンホールの展示
- ・浜松市デザインマンホールカード、
缶バッジの配布
- ・その他、「すいすいクラブ」の
オリジナルグッズを配布

8 汚れた水がきれいになるまで

浄化センターの仕組み

浜松市の浄化センターでは、
小さな**微生物の働き**によって
汚れた水をきれいにしていきます。
微生物のおかげで、
わたしたちは安心して**トイレ**で
水を使って済むことができます。

中部浄化センター

①粗砂分離 ②二次沉淀池 ③活性汚泥槽 ④脱色槽

⑤ろ過槽 ⑥消毒槽

⑦貯水池

⑧川や海へ放流

資源の再利用

浄化センターで残った汚泥(汚泥)は
焼くしてから、850℃以上の温度で
焼いて資源に戻しています。

汚泥焼却炉

850℃以上

焼却

再利用

焼却してできた灰の一部は
歩道の材料に再利用されています。
廃棄物として捨てるのではなく
再利用に努めています。

水質検査

川や海へ放流

浄化センターでは
塩素で消毒し、水質検査を行ってから
川や海に放流しています。
下水道で汚れた水をきれいにして
川や海が汚れないようになっています。

多数のTVモニターや電子サイネージ看板
等を設置することで、より分かりやすい
デジタル系イベントとなるように工夫

デジタル広報ツール「すいすいクラブ」
をデジタルと体験型を兼ねる
ハイブリッド型広報ツールとして活用
→ ウィズコロナ、アフターコロナに
対応した新しい広報形態

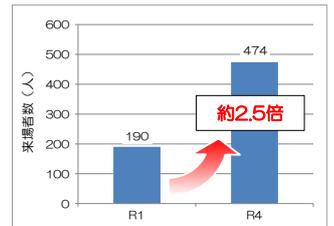
「すいすいクラブ」と「SDGs」
を関連付けたポスターを作成し展示
(テーマの明確化により
イベントの統一感を演出)

「すいすいクラブ」を通して、
浜松市の下水道が「SDGs」に
貢献している取組を紹介

話題性のあるテーマ「SDGs」により
集客力アップ

成果

- ・3年前(直近)実施のイベントと比べて約2.5倍の方が来場(大幅な来場者数増)
 - ※今回、3年前と同じ時期、場所、時間でイベントを開催
 - 浜松市の下水道に対する興味・関心の喚起、
「すいすいクラブ」の認知度向上に繋がる成果!
- ・「すいすいクラブ」を活用したこれら広報活動が評価され、次の賞をW受賞



🌟 令和4年度(第15回)国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)「広報・教育部門」

🌟 令和4年度水道イノベーション賞 特別賞 <公益社団法人 日本水道協会>

→ 受賞をウリとして、今後も積極的な広報活動を展開!

